

学校訪問レポート 県立岡山大安寺中等教育学校の紹介

平成二十二年四月、岡山大安寺高等学校を母体として、県内初の県立中等教育学校が開校します。全国的にも注目を集める公立中高一貫校ですが、県内では後楽館・操山・天城に続いて四校目となります。しかし、今までと違うのは、高校での外部からの受け入れが無く、六年間ずっと同じ生徒集団が続くという点です。

今回は、倉敷事務局の浦田がお話を伺ってきました。対応してくださったのは中塚先生です。



校舎外観

浦田 ついに県内初の中等教育学校の誕生ですね。完全中高一貫校であるメリットは、どこにあるとお考えですか？

中塚先生 一つは、六年間という長い期間で生徒指導ができることです。本校は、従来のように中学・高校と三年間で区切るのではなく、六年間を発達段階で区別した教育を行

います。強固な基礎を作る「基礎期」、体験活動により視野を広げる「充実期」、そして次なるステップへ挑戦する「発達期」に区別し、生徒の成長に合わせた指導を行います。

浦田 なるほど、学年よりも生徒の発達段階に沿った指導を重視するわけですね。定員は一六〇名と、高校のことを考えるとかなり少ないように感じるのですが？

中塚先生 はい、本校では、学年の教師全員が生徒一人ひとりの把握に努めることを目標としています。一学年四学級ほどの規模ですから、六年間指導に携わること、教師が学級を越え個々の生徒に応じたきめ細かい指導を行うことができます。授業の内容を十分理解できているかどうか、放課後を利用してのチェック体制も考えています。また、大切なお子様を六年間お預かりするのですから、学習面だけでなく、精神面でのサポートも重要視しています。

浦田 少人数ならではの指導・支援体制ですね。やはり大学進学を見据えているのでしょうか？

中塚先生 大学進学を希望する生徒は、確かな学力を身につける必要が

あります。本校では高校受験を行いますので、中学三年生では一部高校の内容を先取りして学習します。



学校説明会の様子

早い段階で高校三年間の学習内容を終え、受験の時期には「ハイパー科目」など高度な内容を扱う学

校設定科目を用意し、生徒の希望する進路を実現する指導を行います。

浦田 他の県立高校よりも早い段階で入試対策に移ることができると、というのは有利ですね。ただ、受験勉強に特化するだけが目的ではないんですよ？

中塚先生 大学入試のための勉強だけが高校生活ではありません。知識そのものを深め、応用力や人間力を育成できるよう探求型の授業や体験学習(DA・ANJIPプロジェクト)を用意しています。海外研修やディベート大会、ボランティアなどを通じて様々な体験をすることで、行動力や実践力を高めることが目的です。

浦田 実社会においても、勉強だけではなく生きて知識や経験が重要ですね。今後、御校が求める生徒

像とは、どのような生徒ですか？

中塚先生 まずは、何事にも積極的に取り組むことができる生徒ですね。自分のやりたいことや目標に向かって努力することは大切です。本校は学区を設けていませんから、より多くの児童に受験して欲しいですね。

浦田 とは言え、開校初年度で保護者の方々には不安な点もあるのではないかと思いますか？

中塚先生 興味のある保護者の方々には、積極的に情報提供を図っています。一月・七月に実施した説明会では、延べ四千名以上の参加者がありました。不安がある方は、ご遠慮なく本校に質問してください。

浦田 最後に、小学生と保護者へ、メッセージをお願いします。

中塚先生 中等教育学校となることで、既存の学習指導要領の枠を超え、今まで以上に理想的な教育を実践することが出来ます。そして、我々教員は、生徒の進路の実現に向け精一杯サポートさせていただきます。ぜひ私たちと大安寺の新たな歴史を作りましょう。



中塚先生(左) 浦田(右)